

Dr.2000 手洗浄用高発泡洗浄剤（NT-2）

安全データシート JIS Z 7253:2012 に基づき作成

1. 化学品及び会社情報

製品識別情報

製品名 : Dr.2000 手洗浄用高発泡洗浄剤（NT-2）

製品コード : NT-2

化学製品の推奨用途および使用上の制限事項

推奨用途 : 洗剤

会社情報

供給者 : キャノンメドテックサプライ株式会社

住所 : 神奈川県川崎市中原区今井上町9番1号

電話番号 : 044-739-6786

製造元 : 米国 マイクロサイエンティフィック社

755 Tri-State Parkway Gurnee, IL 60031 1-800-837-8140

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 全項目において分類されない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

この混合物は、JIS Z 7253:2012 の基準に従って言及されるべきいかなる物質も含まない。

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 呼吸が困難な場合は、すぐに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に刺激が生じた場合はすぐに多量の水で洗うこと。刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズの場合、取り外し注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 医師の診断なしに嘔吐を誘発しないこと。意識のない人には決して口から何も入れないこと。気分が悪い場合、医師の手当てを受けること。

最も重要な症状および影響

吸入	: 呼吸器への刺激のおそれ
皮膚	: 皮膚への炎症のおそれ 症状には、発赤、乾燥、脱脂、ひび割れなどがある。
眼	: 眼への刺激のおそれ 症状には、赤みと腫れ、不快感や痛み、過度の瞬き、涙が含まれることがある。
経口	: 飲み込むと有害のおそれ。 消化器系の刺激、吐き気、嘔吐、下痢を引き起こす可能性がある。

その他の医学的助言または治療

その他の医学的助言または治療	: 症状の発生が遅れることがある。 事故の場合や気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。 (可能であればラベルまたは SDS を見せる)
----------------	--

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 周辺の火災に適した消火剤。
不適切な消火剤	: 知られていない。
化学製品に起因する特定の危険有害性	: 燃焼生成物には以下が含まれるが、これに限定されない。-炭素酸化物
消防活動中の保護	: 風上から行ってください。完全消火用ターンアウトギア（フルバンカーギア）と 吸用保護具（SCBA）を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

一般対策	: 人体に対する注意事項：第8章で推奨する個人用保護具を使用する。危険区域を分離し、保護の措置を取っていない不必要な人員の立ち入りを禁止する。
------	---

非緊急要員向け

緊急時の対応	: 適切な保護具を備えた有資格者のみが介入する。漏出区域を換気する。
--------	------------------------------------

緊急対応者向け

保護用具	: 適切な保護具なしで漏出時の措置を行わない。詳細については第8章で推奨する「ばく露防止及び保護措置」を参照する。
------	---

環境に関する注意事項

環境に関する注意事項	: 下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
------------	---------------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込めのため	: こぼれた物質を不活性物質（砂、パーミキュライトなど）で封じ込めおよび吸収させた後、適切な容器に入れる。下水道に流したり、水路に流入させたりしない。また適切な個人用保護用具（PPE）を使用する。
洗浄の方法	: 材料をすくい上げて処分容器に入れる。

換気をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全な取扱いのための注意事項 : 皮膚/眼/衣類への接触を避けること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを避けること。
 飲み込まないこと。
 開封時、取扱い時に注意すること。
 使用時に飲食、喫煙を行わないこと。
- 衛生対策 : 汚染された衣服は洗うこと。
 製品の使用後は常に手を洗うこと。

保管上の注意事項

- 保管条件 : 子供の手の届かないところに保管する。
 容器を密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業場の換気を良好にすること。
- 手の防護具 : 適切な保護手袋を装着すること。
- 眼の防護具 : 保護眼鏡またはゴーグルの使用を推奨する。
- 皮膚と身体の防護具 : 適切な防護衣を装着すること。
- 呼吸器保護具 : 換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。
 呼吸用保護具の選択は、既知のまたは予想される暴露レベル、製品の危険性、および選択した呼吸保護具の安全な作業限界に基づいている必要がある。
- 環境ばく露管理 : 環境への放出を避ける。
- その他の情報 : 製品の取り扱い、加工、保管を行う場所で、飲食や喫煙をしない。
 適切な労働安全衛生および安全手順に従って取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態 : 液体
- 外観 : 液体
- 色 : ピンク色
- 臭気 : 洗剤
- pH : 7.5
- 相対蒸発速度 : データなし
 (ブチルアセテート= 1)
- 融点 : データなし

凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: > 93.3 °C
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 燃焼性なし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
相対密度	: 1.02
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
粘性 動粘度	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下で使用する場合危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 通常の条件下で使用する場合危険な反応はない。
避けるべき条件	: 加熱
反応させてはいけない物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物が含まれるが、これらに限定されない。

11. 有害性情報

その他の情報：可能性のある暴露経路：経口摂取、吸入、皮膚及び眼。

急性毒性（経口）	: 分類されない。
急性毒性（経皮）	: 分類されない。
急性毒性（吸入）	: 分類されない。

未知の急性毒性（GHS-JP）	混合物の 10.61%は未知の急性毒性の成分からなる(経口) 混合物の 11.71%は未知の急性毒性の成分からなる(経皮) 混合物の 11.71%は未知の急性毒性の成分からなる(吸入（蒸気）)
-----------------	--

皮膚腐食性/刺激性 : 分類されない。（入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。）
pH：7.5

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 分類されない。（入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。）
pH：7.5

呼吸器感作性または皮膚感作性 : 分類されない。（入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。）

- 生殖細胞変異原性 : 分類されない。(入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。)
- 発がん性 : 分類されない。(入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。)
- 生殖毒性 : 分類されない。(入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。)
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類されない。(入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。)
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類されない。(入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。)
- 吸引性呼吸器有害性 : 分類されない。(入手可能なデータに基づいて、分類基準は満たされていない。)

1.2. 環境影響情報

- 環境一般 : 水生環境に長期の悪影響を及ぼすことがある。
- 水生環境に対する未知の危険有害性 : 水生環境に対する未知の危険有害性成分は 11.74%含まれている。
(GHS-JP)
- 急性水生毒性 : 分類されない。
- 慢性水生毒性 : 分類されない。
- その他の情報 : 他の影響は知られていません。

High Suds Neutral Liquid Detergent	
Persistence and degradability (残留性及び分解性)	Not established (データなし)
Bioaccumulative potential(生体蓄積性)	Not established (データなし)

High Suds Neutral Liquid Detergent	
Mobility in soil(土壌中の移動性)	No additional information available (追加情報なし)

- オゾン層への有害性 : 追加情報なし。
- その他の影響 : 追加情報なし

1.3. 廃棄上の注意

- 廃棄物の処理方法 : 地域または国の規制に従い安全な方法で廃棄する。

1.4. 輸送上の注意

国際規制 (UN RTDG)

- 国連番号 : 該当しない
- 品名(国連輸送名) : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 該当しない

海上輸送 (IMDG)

- 国連番号 : 該当しない
- 品名(国連輸送名) : 該当しない

容器等級 : 該当しない

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 該当しない

航空輸送 (IATA)

国連番号 : 該当しない

品名(国連輸送名) : 該当しない

容器等級 : 該当しない

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 該当しない

海洋汚染物質 : 該当しない

MARPOL : 該当しない

日本の輸送上の規制

海上での規制情報 : 船舶安全法の規定に準拠すること。

航空上での規制情報 : 航空法の規定に準拠すること。

その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

化学物質把握管理促進法 : 優先評価化学物質 (法第2条第5項)

労働安全衛生法 : 第2種有機溶剤等 (施行令、条項、付表6-2有機溶剤中毒防止法第1条第1項第4号) 労働環境アセスメント基準 (法第65-2条)、段落1) 危険物質、可燃性物質 (施行令、条項、別表1第4号)

毒物及び劇物取締法 : 有害物質 (指定順、Art.2) 1, 3 - ジクロロプロペン及びこれを含有する製剤 (0.1%未満)

水質汚濁防止法 : 有害物質 (法第2条、施行令第2条、排出基準を定める省令、第1条)

大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質の可能性 (中央環境審議会報告書9) 有害大気汚染物質、優先物質 (中央環境審議会報告書第9号) 自主管理ガイドライン上の物質 (環境庁告示) 揮発性有機化合物 (法第2条第4項) (都道府県への環境庁告示) 揮発性有機化合物 (法第2条第4項) (2002年VOC排出量調査報告書)

海洋汚染及び海上災害に関する法律 : 無害物質 (施行順、付表1、表2) 有害液体物質 (施行順、3、付表1) 有害液体物質 (1、付則1、付表1) 有害液体物質 (グループZ)、(施行令、アト別表1) 指定された無害物質 (環境省、148号、4号)

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令、添付表1第16項(1)

水道法 : 有害物質 (法第4条第2項)、水質基準 (2003年省令第101号)

下水道法 : 水質基準物質 (法第12-2条第2項施行令第9-4条)

労働基準法 : 病気の原因となる化学物質 (法第75条第2項施行規則第1-2号第4号)

農薬取締法 : 特定農薬 (法第2条第2項農林水産省及び環境省告示第1号)

土壤汚染対策法 : 特定有害物質 (法第2条第1項施行令第1条)

16. その他の情報

その他の情報 : 無し

本 SDS は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS 中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。本 SDS は、その記載内容を保証するものではありません。